

# JAバンクあきたにおける 地域密着型金融の取組について (平成23年度)

平成24年11月

農林中央金庫秋田支店

# JAバンクあきたにおける 地域密着型金融の取組状況（平成23年度）

- JAバンクあきた（秋田県下16JA<sup>（注）</sup>と農林中央金庫秋田支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成22～24年度JAバンクあきた中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

（注）平成24年4月にJA秋田ふるさと・JAおものがわが合併して現在のJA秋田ふるさとになったことから現在15JA

- 平成23年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。



# 目次

- 1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援  
(JAバンクあきたの農業メインバンク機能強化への取組み) ……P1
- 2 農業担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 ……P8
- 3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、  
農業担い手に適した資金供給手法の提供 ……P13
- 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した  
持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 ……P17

# 1 農山漁村等地域の 活性化のための融資を始めとする支援 (JAバンクあきたの農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンクあきたは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

# 農業融資商品の適切な提供・開発

- JABankあきたは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成24年3月末時点の JABankあきたの農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は46,818百万円(うち農業経営向け貸付金44,457百万円)、日本政策金融公庫等の受託貸付金残高<sup>(注2)</sup>は23,075百万円を取扱っています。
- (注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- (注2) JABankあきたが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

# 農業融資商品の適切な提供・開発

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

営農類型	平成24年3月末現在
農業	44,457
穀作	13,167
野菜・園芸	521
果樹・樹園農業	66
工芸作物	23
養豚・肉牛・酪農	2,846
養鶏・採卵	69
その他農業(注1)	27,765
農業関連団体等(注2)	2,361
合計	46,818

(注1) 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

(注2) 「農業関連団体等」には、JAや全農、それらの子会社等が含まれています。

\* 合計値は端数調整しています。

# 農業融資商品の適切な提供・開発

【資金種類別農業資金残高】 単位 百万円

種 類	平成24年3月末現在
プロパー資金 (注1)	29,356
農業制度資金 (注2)	17,461
農業近代化資金	3,433
その他制度資金 (注3)	14,028
合 計	46,818

- (注1) プロパー資金とは JABank 原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- (注2) 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体等が利子補給等を行うことで JABank あきたが低利で融資するもの、日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは の転貸資金と を対象としています。
- (注3) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパー S 資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

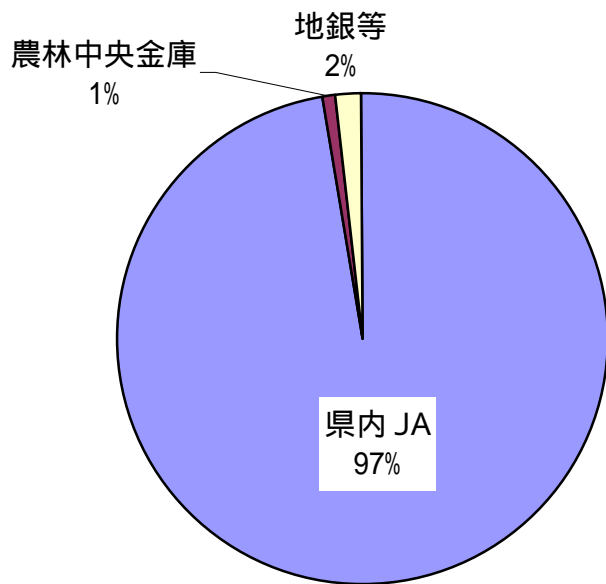
【農業資金の受託貸付金残高】 単位 百万円

種 類	平成24年3月末現在
日本政策金融公庫資金	23,053
そ の 他	21
合 計	23,075

- (注) JABank あきたでは、主には JA を窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

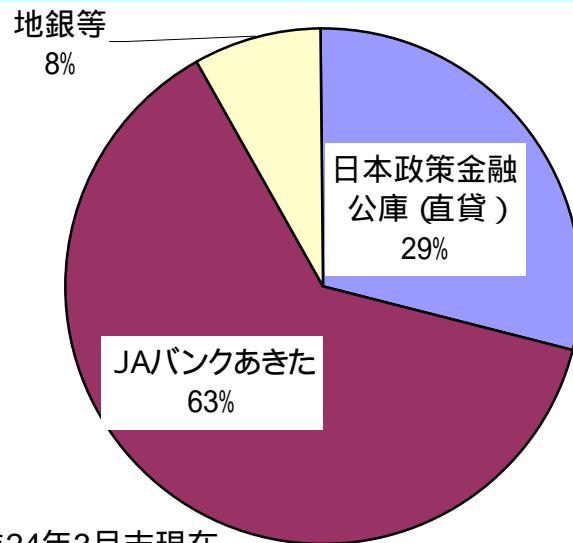
# 農業融資商品の適切な提供・開発

農業近代化資金 融資残高シェア  
(平成23年12月末)



平成23年12月末現在  
出所 農林水産省

県内の農業資金取扱残高シェア  
(平成23年度)



平成24年3月末現在  
出所:日本政策金融公庫 農林水産業 業務統計年報」  
各行のディスクロージャー誌  
注意:JAバンクあきたの残高には,JAが窓口となっている  
公庫資金H方式の取扱(3.9%)が含まれています。

JAバンクあきたは,主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金を含む県内の農業資金において,トップシェアを維持しています。



# 農業担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンクあきたでは、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内16 JA (平成23年当時)の本支店には63人の「担い手金融リーダー」を設置し、農業融資担当者の活動をサポートしています。
- JAバンクあきたでは、農林中央金庫秋田支店内に「JAバンクあきた農業金融センター」を設置し、JAの活動サポート、支援や農業法人等からの融資相談対応を実施しております。

# JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

## 具体的取組事例

JA秋田中央会，JA全農あきた，農林中央金庫秋田支店の共催による，担い手金融リーダー（信用事業職員）研修会を実施し，TACの活動等，他の事業部門における農業担い手対策や農業資金に関する知識を深め，農業者の多様なニーズに対応するための研修を行いました。

## 2 農業担い手の経営の

### ライフサイクルに応じた支援

JAバンクあきたは、農業担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

# 新規就農者の支援

- JAバンクあきたでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【平成23年度新規就農者をサポートする資金の取扱実績】 単位 件・百万円

	実行件数	実行金額	平成24年3月末 残高
就農支援資金	3	15	108

# 経営不振農家の経営改善支援

- JABankあきたでは、平成21年度に新設された負債解消再チャレンジ支援事業（農業経営負担軽減支援資金利用者に対する利子補給等）に基づき、秋田県農業再生委員会において、認定農業者の経営再建に向けて関係機関と協議し、負債農家の再生に向けた取組みの支援しております（平成23年度の認定状況は、7件、77百万円）。なお、本支援は平成23年度で終了し、累計46件、792百万円の実績となりました。

# 経営不振農家の経営改善支援

【23年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位 先数)

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先		1,175	6		930	0.5%	
要注意先	うち其他要注意先	248	6	63	150	2.4%	25.4%
	うち要管理先	138	0	22	89	0.0%	15.9%
破綻懸念先		100	1	23	62	1.0%	23.0%
実質破綻先		107	0	6	81	0.0%	5.6%
破綻先		17	0	3	12	0.0%	17.6%
小計( ~ の計)		610	7	117	394	1.1%	19.2%
合計		1,785	13	117	1,324	0.7%	6.6%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成23年3月末時点でのものです。

# 農業法人とのコミュニケーション強化

- 農林中央金庫秋田支店は、秋田県農業法人協会への加盟を契機に、地域農業の有力な農業担い手である農業法人経営者の皆様と活発に交流を深めています。
- 平成23年度には秋田県農業法人協会と、講師を招いたセミナーを共催し、積極的な交流・情報交換を行いました。

### **3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、 農業担い手に適した資金供給手法の提供**

JAバンクあきたでは、農業担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。



# 負債整理資金による軽減支援

- JAバンクあきたでは、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成23年度 負債整理資金貸出実績】

単位 件・百万円

資金名	新規実行件数	新規実行金額	平成24年3月末残高
農業経営負担軽減支援資金	20	232	2,151
畜産特別資金	0	0	992
その他	35	243	7,572
合計	55	475	10,715

- 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

# 動産担保融資の活用

- JAバンクあきたでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。
- 秋田県における融資の実績は次表のとおりです。

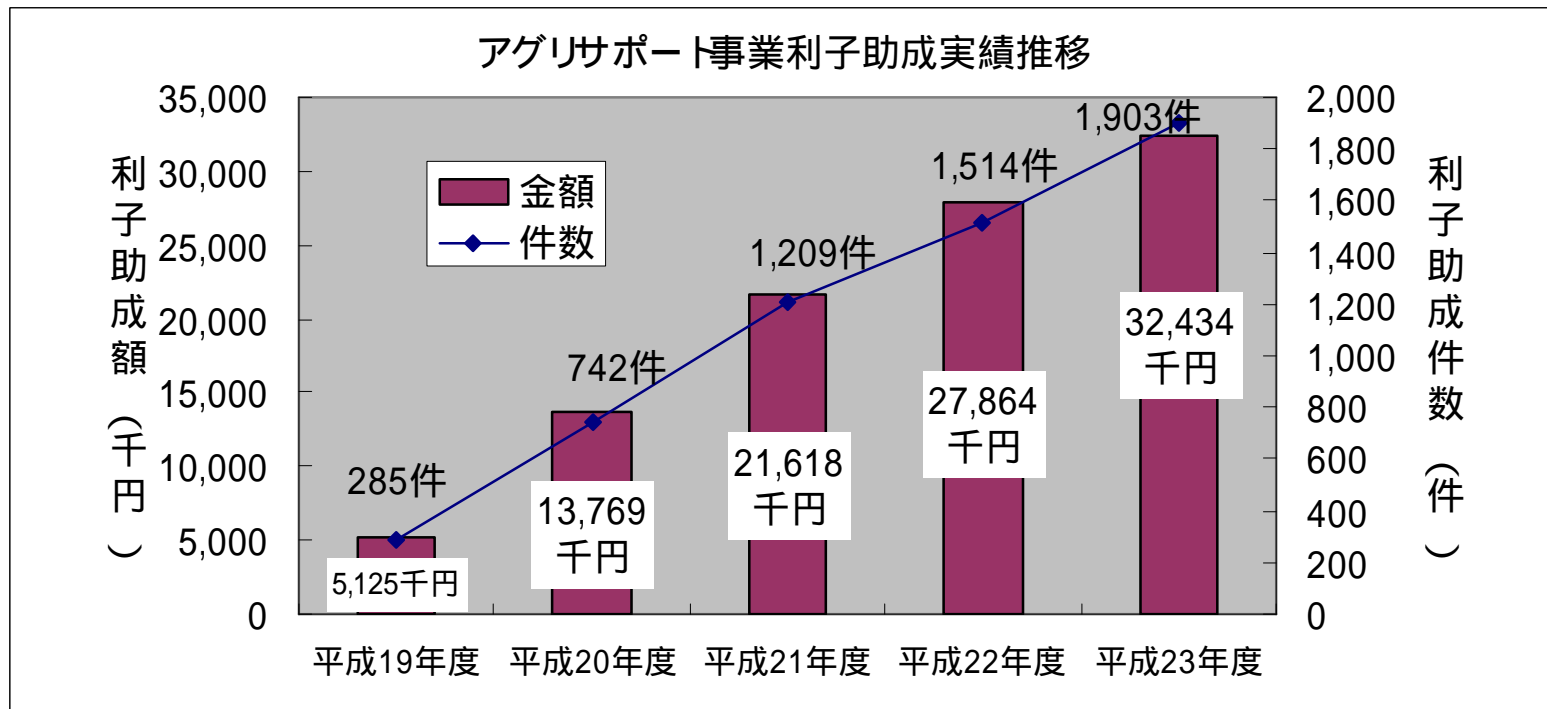
【動産担保融資実績】

単位 件・百万円

種 類	件数	残高
畜産物	2	483

# 農業融資への利子助成の実施

- JABankあきたでは、農業者に対する農機ハウスローン、アグリマイティー資金、農業経営改善促進資金等の融資について、JABankアグリ・エコサポート基金から最大1%の利子助成を行いました。



## 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した 持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンクあきたでは、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

# 災害被災者への支援

- JAバンクあきたでは、被災者等を支援するため、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件・百万円

取組事例	JA名	内容	実行件数	実行金額
秋田県営農維持緊急支援資金	県下16 JA (当時)	異常気象 (猛暑や豪雪) による被害を受けた農家のために創設された支援資金に対して、秋田県 JAグループとして利子補給を行いました。	182	196
果樹産地再生支援資金	県下16 JA (当時)	平成22年度の豪雪により被害を受けた果樹産地を支援するために創設された支援資金に対して、秋田県 JAグループとして利子補給を行いました。	16	24
秋田県肉用牛経営緊急支援資金	県下16 JA (当時)	原発事故の風評 間接被害を受けた肉用牛農家の経営を支援するために創設された支援資金。県の利子補給により、実質無利子化。	23	108
各 JAの支援資金	県下16 JA (当時)	各 JAにて独自の支援資金を創設し、市町村と連携した無利子資金、異常気象対策資金、戸別所得補償制度にかかるつなぎ資金等に対応しました。	85	159
合計			306	487

# JABANK食農教育応援事業の展開

## 農業とわたしたちの暮らし



【特別支援教育版】

## 農業とわたしたちの暮らし



【小学校高学年】

年 級 名前

- JABANKあきたは、子どもたちが、食料を生産する「農」の役割や重要性、自然・社会環境と「農」のつながり等について学び、農業に対する理解を深めていただけるよう、食農教育を中心とする教育活動を行っています。
- JABANKあきたを通じて、教材「農業とわたしたちの暮らし」を、県下小学校237校の小学5年生へ、約1万セットを無償配布し、学校の授業等で活用されています。
- なお平成24年度は、特別支援学校版を作成し、希望する特別支援学校(学級)に配布しています。

# JAバンク食農教育応援事業による活動内容

- 県下16 JA (当時)においても,食農教育などの実践に取り組んでおり,一部を下表のとおり紹介します。

## 【JAバンク食農教育応援事業による主な活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JAかつの	子供達の食農教育	地元の子ども達に農業体験を通じて農業に関心を持ってもらうために,学校農園に種苗供給を行いました。
JAあきた北	ちゃぐりん農園	地元小学生・園児を対象とした農業体験等を行いました。
JA鷹巣町	ふれあい農園	野菜栽培を通じ植物生育と食の大切さを学びました。
JAあきた北央	田んぼの生きもの調査	田んぼと周辺に生息している生き物を採集し,図鑑等の書籍を用いて名前や特徴を調べました。
JAあきた白神	小学生の畑作体験学習	播種や苗の定植,生育観察,案山子コンクール,収穫体験や活動記録発表会など農業体験学習を実践しました。
JA秋田やまもと	農業体験スクール	管内小中学生による農作業体験(じゅんさい摘み取り,稲刈り・リンゴ収穫他)を行いました。

# JAバンク食農教育応援事業による活動内容

JA名	活動名	活動内容
JAあきた湖東	秋田の食探検隊	管内小学生親子による収穫体験や、郷土料理について学習しました。
JA秋田みなみ	男鹿春日井児童交流学習会	愛知県春日井市の児童が男鹿市を訪れ、農業体験学習や地引き網体験などを行いました。
JA新あきた	インターネットには載っていないおばあちゃんの味(技)教えます	市内小中学生を対象に、農業体験・地産地消の調理実習・農業体験などを行いました。
JA大潟村	生活指導生活文化活動(市場見学)	小学生を対象に、秋田市中心卸売市場を見学し、農産物の流通について学習しました。
JA秋田しんせい	あぐりスクール	小学生を対象に、作物の種まきから収穫までの農業体験や、調理実習を行いました。
JA秋田おばこ	アグリキッズ探検隊	管内の小学生を対象とした農業体験を行いました。
JA秋田ふるさと	ふるさと農業体験	横手市内小学生親子による農業体験を行いました。
JAおものがわ (現 JA秋田ふるさと)	農業体験教室	小学生を対象に、農産物の作付・収穫等を通じて農業への関心を育みました。
JAこまち	保育園児農業体験事業	保育園児を対象に青年部によるジャガイモの作付け・収穫体験を行いました。
JAうご	ちょきんぎょイラストコンクール	管内の小学生を対象とした学校農園体験のイラストコンクールを開催しました。